



独立行政法人都市再生機構が発行する 「ソーシャルボンド」への投資について

春日井市（以下「本市」という。）は、このたび、独立行政法人都市再生機構（以下、「同機構」という。）が発行するソーシャルボンド（第207回都市再生債券、以下「本債券」という。）への投資を決定しましたので、お知らせします。

昭和30年代後半から同機構（旧日本住宅公団）が手掛けた高蔵寺地区のニュータウン開発は、本市が現在人口30万人を有し、名古屋圏を代表する住宅都市として発展する契機となりました。平成26年には、高蔵寺ニュータウンの将来に向けた総合的なまちづくり支援に係る覚書を同機構と締結し、質の高い住環境を維持するため協力して取り組んでいます。

まちづくりや住まいづくりを通じて社会的・環境的課題の解決に取り組む、同機構による本債券の発行主旨を受け、昨年度に引き続き、本市は保有する基金の一部を活用し、投資を行うこととしたものです。

「ソーシャルボンド」は、社会的課題の解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）の資金調達のために発行される債券です。

本債券の発行による資金調達は、同機構が実施するソーシャルプロジェクトの財源として活用され、我が国が抱える社会的課題の解決、また国連の持続可能な開発目標（SDGs）⁽¹⁾の達成に貢献します。

【購入債券の概要】

銘柄等	第207回都市再生債券（5年）
購入額	1億円
発行日	令和7年9月19日

(1) 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる加盟国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと